

令和4年度 地球温暖化対策実行計画実施状況の点検・評価

滋賀県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画に基づき、取組実績及び取組項目の実施状況を点検し、公表します。

1. 温室効果ガス排出量実績

年 度	ガソリン使用 (ℓ)	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素ガス排出量 kg)	削減率 (対基準年)
2018年度 (平成30年度)	638.36	1,481.00	(基準年)
2019年度 (令和元年度)	665.33	1,543.57	+4.2%
2020年度 (令和2年度)	432.67	1,003.79	△32.2%
2021年度 (令和3年度)	433.70	1,006.18	△32.1%
2022年度 (令和4年度)	696.90	1,616.80	+9.2
2028年度 (令和10年度)	574.52	1,332.89	(目標) 10%削減

2. 取り組み状況と評価

2022年度(令和4年度)のガソリン使用量は、新型コロナウイルス感染症の影響が収まりつつあるなか、重複・頻回受診者や健康診査受診者への訪問回数がコロナ前の水準に戻ったこと。また、保健事業の実施にかかる県内市町との調整の充実化等により、基準年を上回る数値となった。

なお、2023年度(令和5年度)は、保健事業の一部委託化による公用車1台の削減とあわせ、新たに公用自転車2台を導入したことにより、ガソリン使用料の削減を見込んでおり、今後も、エコドライブの徹底について職員に周知するなど、引き続き取り組みを進めたい。

また、始業前や昼休み等の消灯や長時間使用しないOA機器の節電、両面印刷等用紙類の削減に対しては概ね実行できており、引き続き、削減できるよう取り組みたい。